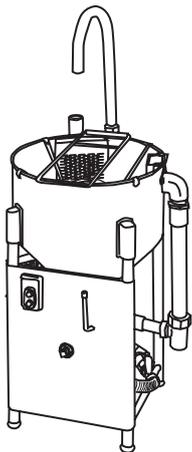


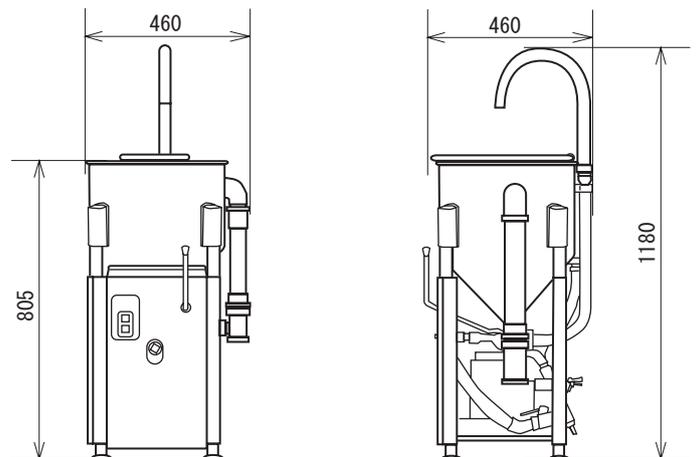
この度はスギコドラフト洗米機をお買い上げいただきありがとうございます。本製品を使用される際は本取扱説明書の内容に従ってご使用いただけますようお願い申し上げます。

製品の特徴

- ・洗米から水切りまでの作業が容易に行えます。
- ・電動ポンプによる給水で安定した水流で短時間で洗米できます。
- ・水流の循環により洗米するため、洗米中のお米の破損を少なく抑えます。
- ・SUS304ステンレス製部品や食品衛生法等に適合した樹脂部品、ゴム部品を使用しており、安心してお使いいただけます。
- ・各部の排水コックにより使用後のお手入れがし易くなっています。
- ・全幅460mm×奥行460mmのコンパクトな設計により、省スペースでの作業が可能です。



品番	RW-38BN
洗米能力	10kg
循環方式	電動式
外寸	W460 × D460 × H1180mm
重量	約25.0kg
洗米ホッパー径	Φ380mm
ホッパー上面高さ	805mm
電源	単相100V(50/60Hz)・電源コード長さ1.5M
消費電力	150W(50Hz)・230W(60Hz)



警告

取扱いを誤った場合に死亡または重症を負う恐れや物的損害が生じる恐れのある注意事項です。安全に使用していただくため、この注意事項を必ずお守り下さい。



工事を伴う製品の設置は、お買い上げいただいた販売店または専門業者などの設置技術を持つ業者にご依頼下さい。設置工事に不備があった場合、感電・火災・水漏れ・製品の破損等の原因となります。



製品の設置は、製品の重量に耐えることができる場所に適切な方法で行って下さい。設置場所や設置方法が不適切な場合、製品の落下・転倒や落下・転倒に伴う製品の破損、感電等の原因となります。



必ず製品に適した電源でご使用下さい。容量不足や容量オーバーでの製品のご使用は、感電や火災等の原因となります。



ポンプ、電源コードには水が掛からないよう十分に注意して下さい。。火災・漏電等の原因となります。



修理技術者以外の方は製品の分解や修理等を行わないで下さい。製品の破損や感電、火災等の事故、怪我の原因となります。



製品は絶対に改造しないで下さい。製品の破損や感電、火災等の事故、怪我の原因となります。



製品を使用する前には、製品に破損等がないか、必ず確認して下さい。破損等が発見された場合、修理が完了するまでは製品を使用しないで下さい。



製品を使用・清掃する際はポンプ・スイッチ等の電気部品に水が掛からないよう十分に注意して下さい。製品の破損や感電・火災・漏電等の事故・怪我の原因となります。



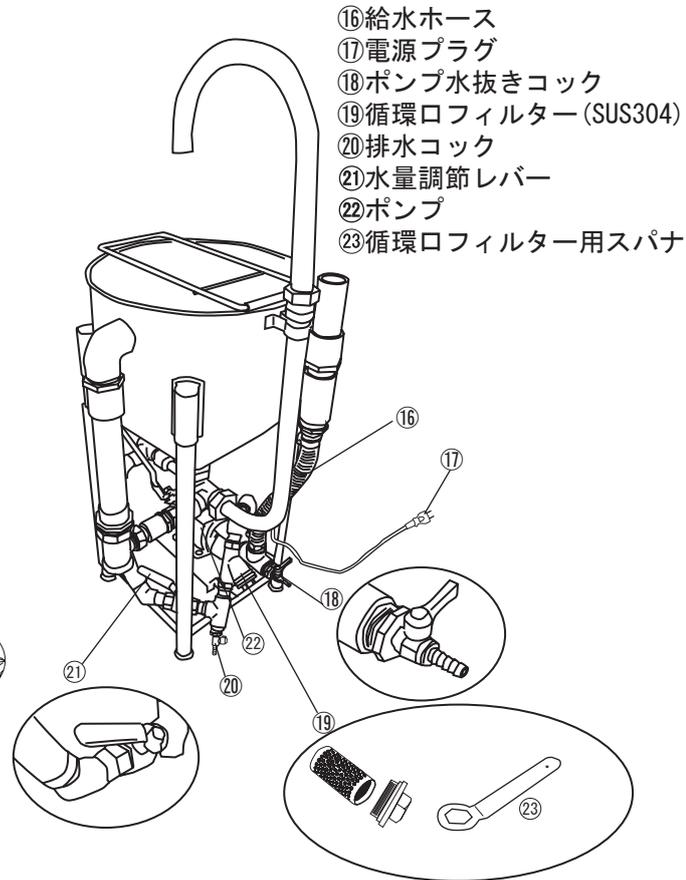
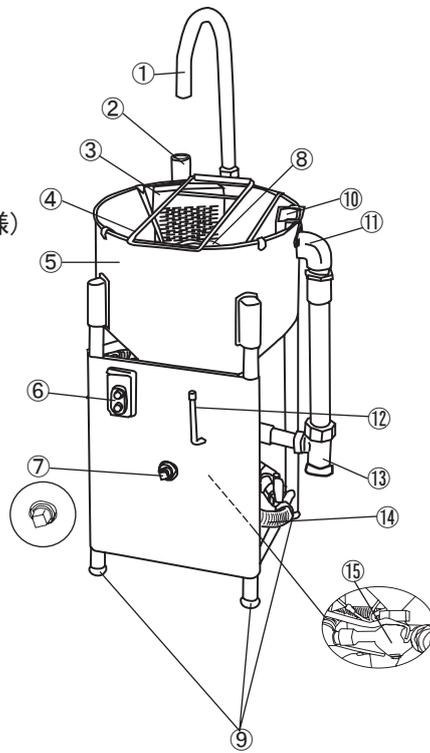
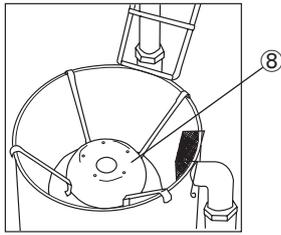
製品を使用された後は、製品についた水分をきれいに拭き取って下さい。水分が製品に残ったまま放置するとサビ等が発生する場合があります。



製品が汚れた際は清掃を行い、製品に汚れが固着しないようにして下さい。汚れによる製品の不具合やポンプの破損層等の原因となります。

各部の名称

- ① 洗米管 (SUS304)
- ② 給水口 (塩ビ)
- ③ 角フィルター (SUS304)
- ④ ザル受け (SUS304)
- ⑤ 洗米ホッパー (SUS304)
- ⑥ ポンプON/OFFスイッチ (防水仕様)
- ⑦ 洗米ノズル掃除口フタ (SUS304)
- ⑧ 洗米コラム (SUS304)
- ⑨ アジャスト脚 (SUS304)
- ⑩ ストレーナー角アミ (SUS304)
- ⑪ オーバーフロー (SUS304)
- ⑫ 洗米ホッパー排水コック
- ⑬ 排水口 (塩ビ 40Aチーズ)
- ⑭ 循環ホース
- ⑮ 洗米ノズル (アルミ)



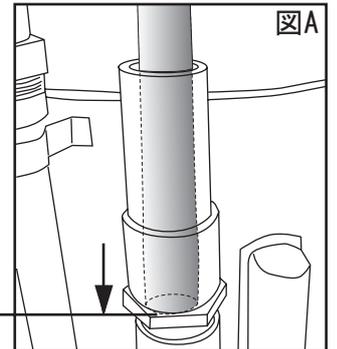
設置・配管・循環テスト

(1) 洗米機の設置

- ・本機は水平になるように設置して下さい。本体の水平はアジャスト脚で調節できます。
- ・ポンプや電源スイッチ等に水が掛からない場所に本機を設置して下さい。

(2) 給水の配管

- ・給水口にビニールホース等を使って直接給水して下さい。
- ・図Aのラインより下まで給水用のホースを差し込んで下さい。ホースの先端がラインよりも上にあると、給水の際に空気が入り水圧が上がらなくなり、ポンプでの循環ができません。
- ・給水ホースからの水圧が強すぎると給水の際に空気が入り、水が上がらない場合がありますので、給水の際の水圧に注意して下さい。

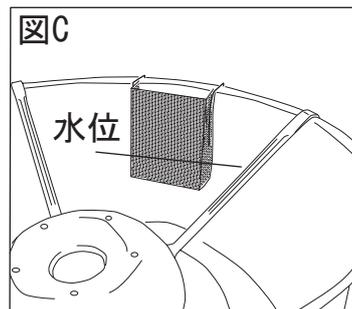
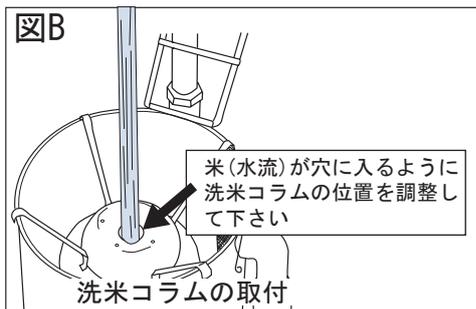


(3) 排水の配管

- ・排水口には40Aのチーズがついています。このチーズを使い、直接配水管への接続が可能です。
- ・排水口の真下に排水溝がある場合は、配水管を接続せずに直接排水することもできます。
- ・配水管を接続しない場合は、排水口からの排水が電動ポンプに掛からないよう注意して下さい。

(4) 循環のテスト

- ・設置、配管が終了後に付属の洗米コラムを本体に取り付けます(下記の図Bを参照して下さい)。
- ・米を入れない状態で給水を行い、オーバーフローまで水を溜めます。水位の目安は図Cを参照下さい。
- ・洗米管から出てくる米(水流)が、洗米コラムの中心の穴に入るように、洗米コラムの位置を調整して下さい(図C)。位置が悪いと洗米中にコラムに当たった米が割れ、割れた米がモーター内に進入し故障の原因となる可能性があります。
- ・ポンプのONスイッチを押し、1～2分ほど水を循環させた後に、ポンプのOFFスイッチを押しポンプを止め排水コックを開き排水して下さい。



洗米の手順

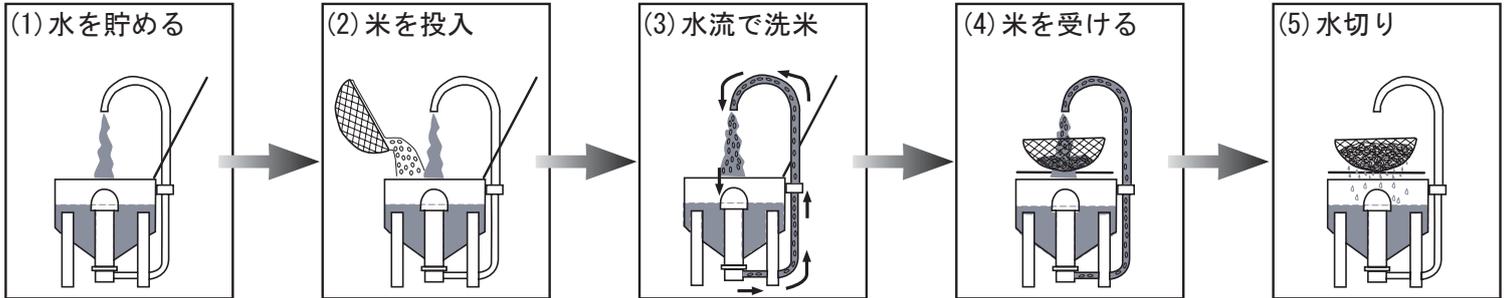


警告 ポンプに水が掛からないよう注意して下さい。

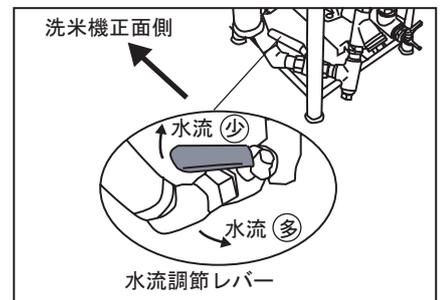


注意 給水を開始する前に、各コックが閉じていることを確認して下さい。

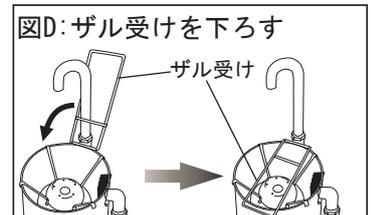
(注意) 米の質や量を考慮して洗米時間を決めて下さい。長時間に渡る洗米やくズ米やもち米などの洗米は、米の破損や米の破片による循環口フィルター、洗米ノズルの詰まり等の原因となる場合があります。



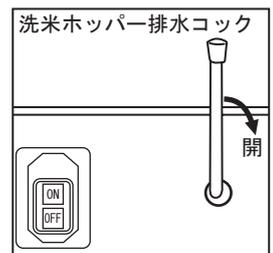
- (1) 洗米ホッパーに洗米コラムをセットし(2ページの図Bを参照)、各部のコックを閉め、給水を開始して下さい。
- (2) 水位がオーバーフローまで来たら(2ページの図Cを参照)、給水を続けたまま、米を洗米ホッパーに投入して下さい。
- (3) ポンプのONスイッチを押してポンプを作動させ、水と米を循環させることで洗米されます。洗米中は給水を止めないで下さい。
水流が強すぎると米が割れる場合があります。水流調整レバーで使用環境に合った水流を調節して下さい。



- (4) 洗米開始から1～2分で洗米が完了します。ザル受けを下ろし(図Dを参照)、米受けザルを載せ、洗米された米をザルで受けて下さい。循環された米が全てザルに入ったら給水を止めて下さい。電動ポンプ式の場合はポンプのOFFスイッチを押してポンプを停止させて下さい。洗米時間が長すぎると米が割れ、循環口フィルターの目詰まりの原因となる場合があります。

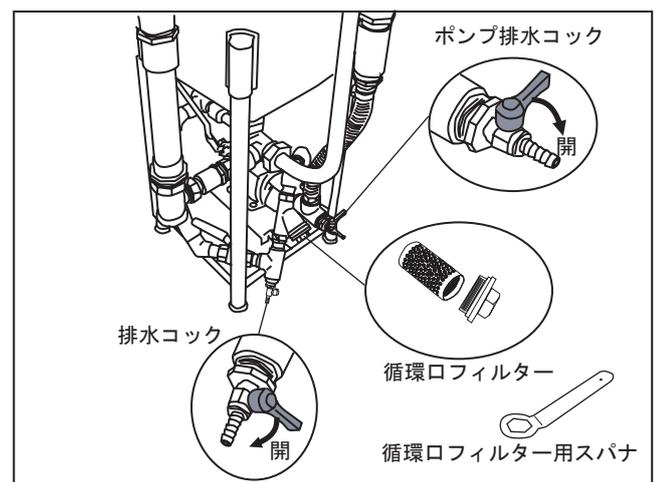


- (5) 洗米された米を入れた米受けザルをザル受けに置いておくことで、米の水切りができます。水切りが完了したら、ザルを移動させて下さい。
- (6) 再度給水を開始し、ポンプのONスイッチを押してポンプを動かし、ポンプの中から米のとぎ汁が出るまで1～2分ほどポンプを作動させて下さい。
- (7) 洗米ホッパー排水コックを開き、排水して下さい。



使用後のお手入れ

- (1) 排水コックを開き、配管内に残った水を排水して下さい。
- (2) 毎回の作業後に、付属のスパナを使い循環口フィルターを取り外し、循環口フィルターを清掃して下さい。
- (3) ポンプ排水コックを開き、洗米機の前側を持ち上げて、ポンプ内に残った水を抜いてください。
- (4) 洗米ホッパーの中が汚れている場合、ホッパー内部を掃除して下さい。
- (5) ストレーナー角アミ、角フィルターが汚れている場合、掃除をして目詰まりのないようにして下さい。
- (6) 排水フィルターを取り付け、ポンプ排水コックと洗米ホッパー排水コックを閉じて下さい。
- (7) 製品、各部品に破損等がある場合、異物混入等の原因となるので破損箇所の修理が完全に終わるまで製品の使用をお控え下さい。

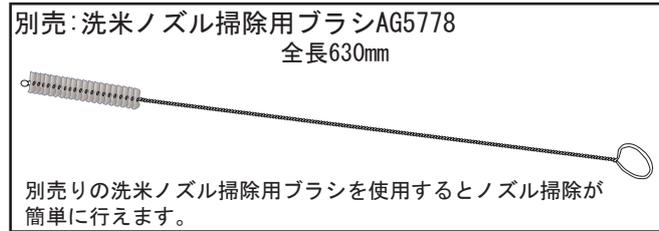
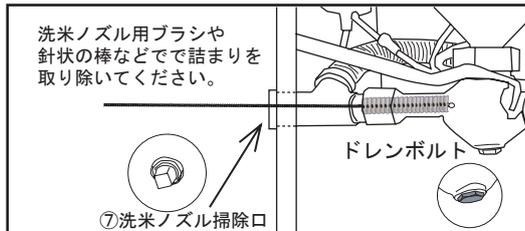


故障かな？と思った時は・・・

- ・米があがらない等、正常な洗米ができない場合は、下記を確認して下さい。
- ・下記を確認しても正常な洗米ができない場合は、お買い求めいただいた販売店にご相談下さい。
- ・⑦⑮などの数字は製品各部品を表しています。該当する部品の場所は2ページ上部の「各部の名称」を参照下さい。

洗米ノズルが詰まっていますか？

- ・米のとぎカスにより、洗米ノズル(⑮)が目詰まりし、米が上がらなくなる場合があります。その場合は以下の手順で洗米ノズル(⑮)の詰まりを取り除いて下さい。
- (1) 本体前面にある洗米ノズル掃除口(⑦)を開け、細いブラシ等を使いノズルの詰まりを取り除いて下さい。掃除後は必ず洗米ノズル掃除口(⑦)のフタを取りつけて下さい。
 - (2) 洗米ノズル(⑮)内に米や米のとぎカスが堆積した場合は、洗米ノズル(⑮)の底面にあるドレンボルトを外し、洗米ノズル(⑮)の中に溜まった米やとぎカスを取り除くことができます。掃除終了後、ドレンボルトを忘れずに元の位置に取り付けて下さい。



- 注意** 洗米ノズル(⑮)を掃除する際には、金属製の棒などの使用は避けて下さい。洗米ノズル(⑮)の内側を傷つけ、破損させる可能性があります。

循環口フィルターが詰まっていますか？

- ・電動ポンプ(⑳)の循環口フィルター(⑲)が目詰まりし、米が上がらなくなる場合があります。その場合は3ページの「使用後のお手入れ」(1)～(3)の手順で循環口フィルター(⑲)を清掃して下さい。

- 注意** ⑲循環口フィルターを取り外す際には、付属の循環口フィルター用スパナ(㉓)を使用して循環口フィルター(⑲)のフタを取り外して下さい。お手入れ後にフタを取り付ける際は、強く締め付けすぎないように注意して下さい。

洗米管内部や配管内部が汚れていますか？

- ・洗米管(①)や配管内部に汚れが溜まる場合があります。お買い上げいただいた販売店または配管技術を持つ業者にご依頼いただき、配管内部を定期的に洗浄することをお勧めします。
- ・配管内部を洗浄する際は、中性洗剤を少量入れた水で2分ほど運転し、配管内部を洗浄して下さい。洗浄後は必ずきれいな水で運転を行い、配管内部などに洗剤が残らないようにして下さい。

適切に給水されていますか？

- ・給水口(②)にビニールホースを差し込んで給水する場合、給水用のホースが適切に挿入されていないと、給水時に空気が混入し水圧が下がり、水流の循環ができない場合があります。2ページの「設置・配管・循環テスト」の(2)給水の配管、図Aを参照していただき、適切な給水を行って下さい。
- ・給水の水圧が強すぎると、給水時に空気が混入し水流の循環ができない場合があります。水圧が強すぎる場合は水流が循環するよう、給水の水圧を調節して下さい。

販売元 スギコ産業株式会社

本 社 新潟県新潟市西蒲区遠藤2810-3
TEL0256-86-3711(代) FAX0256-86-2000
<https://sugico.co.jp>

支 店 東京支店・名古屋支店・大阪支店
営業所 札幌・仙台・広島・福岡

製造元 杉山工業株式会社

新潟県長岡市城之丘1500
TEL0258-74-3151(代) FAX0258-74-3155